

おおい 自然園

アシブトムカシ ハナバチ



代表的な秋に見られるハナバチで、セイタカアワダチソウ、アキノノゲシ、ヨメナなどキク科の花に好んで飛来します。ムカシハナバチの仲間はかつてミツバチモドキと呼ばれていたこともあり、ミツバチに似ていますが、単独で暮らすより原始的なグループです。巣は地中につくり、セロファン状の分泌物を使って部屋をつくります。その部屋の中に花から集めた花粉を貯め、幼虫の餌にします。

本種の雄の後脚は一部が太くなっており、その特徴で雌や近似種から容易に区別できます。雄は刺さないので手で掴んで観察できますが、掴むと体から独特の匂いを放ちます。



▲セイタカアワダチソウの花に来るアシブトムカシハナバチ

神奈川県生命の星・地球博物館 学芸員 渡辺恭平

【おおい自然園 HP】



▲大井町の動植物や虫、石、自然観察会の結果などを掲載しています。

【自然NOWへの投稿】



▲町内の身近な自然情報をお待ちしています。
※撮影は横位置で